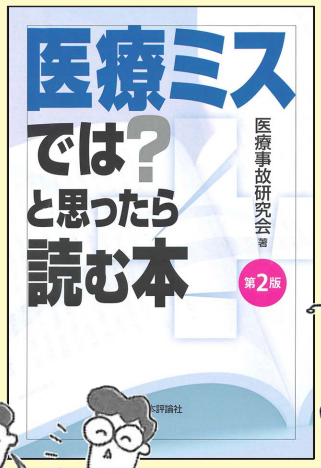
医療ミス では？と思ったら 読む本 第2版

医療事故研究会［著］

●本体1,900円＋税／四六判 ●ISBN 978-4-535-98475-2



◆執筆者

赤堀文信　伊藤　皓　寺中麗子
阿部信一郎　伊藤まゆ　中村一郎
阿部裕行　上田正和　中村新造
荒木昭彦　榎園利浩　中山ひとみ
飯田正剛　大城季絵　羽賀千栄子
飯田康仁　岡田卓巳　東　麗子
石丸　信　尾形繭子　福原　亮
樫尾わかな　藤田尚子
菊地美穂　松井　創
岸本侑子　森谷和馬
櫛田泰彦　山内　容
品谷圭佑　山口貴士
関哉直人　山崎和代
武谷　元　湯浅芳樹
寺谷洋樹　渡辺知子

日本評論社
https://www.nippyo.co.jp/

専門弁護士による100問100答

新たな判例、変更された法制度、医療事故のトレンドも反映させアップツーデート！

第1部 どんな医療事故があるか

Q1 血液採取中の神経損傷
Q2 内視鏡検査による医療ミス
Q3 画像検査での見落とし
Q4 検査中の患者の状態管理
Q5 検査での取り違え
Q6 造影剤による副作用
Q7 検査結果の共有（他科連携）
Q8 心臓疾患の診断ミス
Q9 脳血管障害の診断ミス
Q10 消化器疾患の診断ミス
Q11 子どもの病気に関連する診断ミス
Q12 異物の見落とし
Q13 他の診療科目との相談を怠った
Q14 手術部位を間違えた
Q15 手術中の血管損傷が原因で失血死
Q16 内視鏡手術による事故
Q17 縫合不全
Q18 未破裂動脈瘤クリッピング手術による脳梗塞
Q19 麻酔による事故
Q20 術後の深部静脈血栓形成による肺塞栓による死亡
Q21 術後肺炎による死亡
Q22 術後感染・術後出血
Q23 薬の取り違え
Q24 薬の処方が不適切
Q25 注射・点滴等に関連する事故
Q26 薬の副作用と医薬品の添付文書
Q27 投薬後の経過観察
Q28 製薬会社の責任
Q29 副作用被害の補償制度
Q30 手術の選択に関する説明義務
Q31 合併症に関する説明義務
Q32 薬に関する説明義務
Q33 出産（分娩方法）に関する説明義務
Q34 退院後の療養指導
Q35 家族等に対する説明義務
Q36 死因に関する説明義務
Q37 妊婦に対する検査
Q38 分娩時の大量出血
Q39 陣痛促進剤の大量投与
Q40 ハイリスク分娩をめぐる事故
Q41 吸引分娩、鉗子分娩の手技ミス
Q42 胎児の状態の観察義務違反
Q43 無痛分娩
Q44 出産後の新生児の管理
Q45 産科医療補償制度について
Q46 がんの見落とし
Q47 治療法の選択
Q48 がんの告知
Q49 胃がん手術後の管理
Q50 院内感染
Q51 カテーテル感染症
Q52 痰の吸引
Q53 誤嚥
Q54 褥瘡（床擦れ）
Q55 転倒事故
Q56 患者の身体拘束
Q57 精神疾患患者の自殺
Q58 転医義務
Q59 臓器移植と医療過誤
Q60 高齢者医療
Q61 介護事故
Q62 眼科の医療事故
Q63 歯科の医療事故
Q64 美容外科の医療事故
Q65 フェイスラインの骨削り術
Q66 エステの医療事故
Q67 ペットの医療事故

第2部 医療事故手続の進め方

Q68 医療事故に遭わないためにはどうしたらよいか
Q69 医療事故かも？と思ったときにやっておくべきこと
Q70 警察に被害届を出したほうがよいか
Q71 解剖を勧められたらどうしたらよいか
Q72 自分で交渉や裁判ができるか
Q73 どのように弁護士を探したらよいか ―医療事故に詳しい弁護士の探し方
Q74 治療中でも弁護士に相談できるか
Q75 弁護士との初回の相談
Q76 相談から解決までの流れ
Q77 弁護士のセカンドオピニオン
Q78 カルテの開示請求はいつでも誰でもできるのか
Q79 証拠保全
Q80 医師・病院が負う責任
Q81 看護師・薬剤師・助産師の責任
Q82 交通事故と医療事故が重なった場合
Q83 医事紛争解決の手段
Q84 示談する際の注意事項
Q85 医事紛争処理委員会について
Q86 ＡＤＲについて
Q87 医療事故調査制度
Q88 裁判はいつでも起こせるのか
Q89 患者に意識がないときは誰が裁判を起こせるか
Q90 裁判を起こす場合の費用
Q91 医学知識のない裁判官に適切な判断ができるのか
Q92 医療事故があれば責任が認められるのか（過失）
Q93 過失があれば必ず責任が認められるのか（因果関係）
Q94 因果関係の証明が難しい場合の考え方
Q95 患者側の損害と認められるもの
Q96 裁判にかかる年月、勝訴率は
Q97 裁判はどのように進むのか
Q98 裁判には毎回出席しなければならないか
Q99 裁判の途中で本人が死亡した場合、遺族が裁判を引き継げるか
Q100 裁判の終わり方（判決・和解）

待望の第2版！

キリトリ

※必要事項をご記入の上、最寄りの書店にお持ちいただくか、直接小社まで郵送または、FAXにてお申し込み下さい。

申込書

書店名　番線印

医療ミスでは？と思ったら読む本［第2版］　医療事故研究会［著］　◆本体1,900円＋税
◆ISBN 978-4-535-98475-2

冊

□□□-□□□□ ご住所

お名前　　お電話　（　　）

申込先

FAX▶03-3987-8590 営業部販売課 ☎03-3987-8621
〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4 株式会社 日本評論社 https://www.nippyo.co.jp/